

# はしがき

わが国最初の物流専門教育機関である小運送教習所が創設されたのは、1940年4月のことです。流通経済大学のルーツともいえる小運送教習所誕生60周年にあたるこの年、2000年、新たな世紀の到来を目前にして、IT革命の進展が新たな物流革命を促す予兆を感じさせる2000年11月、流通経済大学は「21世紀の物流を考える」と題して、シンポジウムを開催しました。本「物流問題研究」臨時号は、このシンポジウムの成果をとりまとめたものでございます。

本シンポジウムは、2000年11月2日、東京・市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷で開催されました。第1部では株式会社 東芝の佐藤文夫相談役が、「21世紀の物流について」をテーマに基調講演されています。また第2部のパネルディスカッションにおいては、石田晴久氏、吉野源太郎氏、松林正一郎氏、井手高吉氏の4名の各パネリストによる基調報告に続いて、私、織田政夫がコーディネーター役でパネルディスカッションを進めさせて頂きました。

本シンポジウムには、約450人という極めて多数の方々のご参加をいただきました。午後の4時間余りにわたる比較的長時間のシンポジウムにもかかわらず、終始、熱心にご清聴いただき、またパネリストによるディスカッションにも積極的にご参加いただきました。主催者側の1人として、喜びこれに過ぎるものはございません。改めて厚くお礼申し上げる次第でございます。

本学は今回のシンポジウムの成果を土台に、一段と教育・研究活動の充実、産業界、市民社会との連携強化に努めていく所存であります。今後一層のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

なお、本号の編集にあたりましては、できるだけ会場の雰囲気をお伝えすべく臨場感を念頭においております。また、本号の文責は全て事務局にあることとお断りいたします。

2001年3月

流通経済大学 物流科学研究所  
所長 織田 政夫